

大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

平成 30 年 (2018)

皇紀 2678 年

天皇陛下御在位30年奉祝

大宮八幡祭り(秋の大祭)号【第112号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

主な目次

鎮守の杜から 三題	2 頁
大宮八幡祭り(秋の大祭)のご案内	3 頁
十五夜の神遊び	4 頁
杜の話題	5～8 頁
大宮八幡の杜 秋も深まり	9 頁
初宮詣芳名・どんぐり通信	10・11 頁
大宮八幡祭り社頭風景	12 頁



第 33 回 神輿合同宮入り (9月16日)

天皇陛下御在位30年奉祝

大宮八幡祭り(秋の大祭)

例祭、氏子奉幣祭、第33回神輿合同宮入り

33回を数える神輿合同宮入りは、16日夕刻午後6時、木遣りの音頭を合図に八幡前通り、一の鳥居、二の鳥居、多勢の参拝者で賑わう表参道を進み、次々と神門を潜って大前に参入して社殿前に10基が勢揃い。一斉に練り広げられる神輿振りは将に城西随一。境内は興奮の坩堝と化します。

第33回神輿合同宮入り

17日まで、重陽の節句菊被綿飾りが展示されます。



神社本庁幣を奉じて献幣使参向(16日)

新秋、実りの秋を迎え天皇陛下御在位三十年を奉祝して恒例の**大宮八幡祭り(秋の大祭)**が行われます。本年は15日夕刻6時より**宵宮祭**を明けて16日午前10時より**例祭・氏子奉幣祭**を献幣使参向のもと斎行。神社本庁よりの幣帛と大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の6地区より寄せられたご浄財が氏子幣として大前に献ぜられ秋の実りの感謝と皇室と国家の安泰を祈念します。氏子各地区の神輿の社参もあり、夕刻6時には**第33回神輿合同宮入り**が行われ、浄闇の中、氏子6地区より一基多い10基の神輿が次々と宮入りして祭りは最高潮に達します。このほか15日には大宮幼稚園園児の民謡踊り、杉並太鼓、方南エイサー、16日には高井戸囃子の各奉納、また17日午後には小笠原流宗家による弓の**神事三三九手挟式**。期間中は様々な神賑行事が奉納されます。清涼殿ロビーでは9日より



第18回十五夜の神遊び(仲秋祭)

大宮幼稚園園児神輿宮入り	9月14日
第40回記念献華いけばな小笠原流展	9月15日
盆裁展示会	9月15日
大宮幼稚園園児民謡踊り	9月15日
方南エイサー踊り	9月15日
杉並太鼓	9月15日
奉茶(裏千家) 淡(東京第6東支部)	9月16日
スカウトバザー	9月16日
町内神輿渡御・社参(昼間)	9月16日
野点茶会(裏千家) 東(東京第6東支部)	9月16日
スカウト神輿宮入り	9月16日
高井戸囃子	9月16日
舞楽(俊成雅楽会)	9月16日
小笠原流三三九手挟式	9月17日
露店「120店」	9月15日

大宮八幡祭り期間中の祭事

菊被綿神事	9月8日夕刻
神輿神霊入れ祭	9月14日
若宮八幡神社	9月14日
白幡宮	9月14日
各神幸所清祓・宮司巡拝	9月15日
宵宮祭	9月15日
例祭・氏子奉幣祭	9月16日
第33回神輿合同宮入り	9月16日
神輿神霊返し祭	9月17日
終了奉告祭	9月17日

神賑行事

第20回菊被綿飾り	9月9日
奉納書画行燈	9月8日
秋の弓道奉納射会	9月8日
第5回フォトコンテスト作品展	9月9日

大宮八幡祭りを迎えて

今年には天皇陛下御在位30年奉祝の年で、平成最後の大宮八幡祭りとなりました。

9月15日宵宮祭、16日神社本庁よりの献幣使参向のもと例祭に併せて氏子奉幣祭を斎行致します。両陛下へ御在位30年の佳節を御祝いすると共に感謝の誠を捧げ、ご皇室を中心とする我が国の隆昌と世界の平和をお祈り致し、五穀豊穡を感謝すると共に、あらゆる産業、併せてご家業の繁栄成就を感謝し、氏子、崇敬者のご家庭の平安をお祈り致します。

ご祭神神功皇后の御事

6月中旬、全国天満宮梅風会の総会が太宰府天満宮で開催され、久し振りに参加させて頂きました。

この祭りのパワーを西日本地域に送らせて頂き、今年西日本大豪雨災害に遭われ、亡くなられた方々への慰霊と鎮魂となり、又、酷暑の中、復旧復興の為に日夜活動されている方々への活力となります。この御神輿振りの圧巻とも云えるのです。

天ツ神のご神託に依り、三韓の平定に向かわれませんが、陣痛(出産)を抑える為に石(鎮懐石)を御裳(袴)の腰帯に巻きつけられてご出陣になり、無事凱旋後に筑紫国にお戻りになり、応神天皇をご出産に成ったところであり、応神天皇御降誕の聖地でもあります。



聖母宮御開帳

この神功皇后が仲哀天皇崩き後、御腹に御子(胎中天皇)を身籠られたまま

鎮守の森から 三題 宮司 鎌田紀彦

母大菩薩と呼ばれる「神」の二つの認識がされていた。特に神としての神格は天照大神に並ぶものとして、祖神天照大神に対して「中興」と評価され、この神功皇后の高い評価に御子応神天皇の八幡神としての崇敬も上がり、また、神功皇后を祭神とする香椎だけが「廟」と呼ばれ、やがて、平安京へ遷都されると都の裏鬼門の鎮護として石清水八幡宮が移座され、伊勢に次ぐ第二の宗廟となっていた。

又、北條政子や日野富子も神功皇后の再来と評価されたり、八幡信仰としての聖母神信仰、母子信仰が存在している。(以上概略)

何か、ご祭神神功皇后様の偉大なご神威に引き寄せられている様な強いご神縁を感じさせて頂いております。

明年はご祭神神功皇后様が摂政69年

その折、筑前の宇美八幡宮へ立寄り、参拝致しました。境内が美しく整備されており、小雨模様でしたが丁度戌の日で、多くの参詣者で賑わい、社殿では安産祈願がされておりました。

満宮の宮司様よりお聞きしました。

次いで、全国八幡宮連合第64回総会が6月26日(27日)、総本部の石清水八幡宮で開催され、講演会では帝塚山大学非常勤講師、文学博士の上真弓先生の「八幡信仰の広がり」と神功皇后」と題したお話を伺いました。

「神功皇后は日本書紀では男装して三韓へ赴く勇猛果敢な女帝で、嘗て五月人形や絵織りにも描かれていた。

又、明治14年(二八八二)から政府紙幣(二円以上の改造紙幣)に日本で初めて印刷された人物であり、神功皇后札とも云われていた。

又、中世に於いても日本書紀や多くの歴史資料にも単なる皇后ではなく、天性の統治能力を持った第15代「女帝」と聖

(二六九)陰曆の4月17日に御年百歳で神上りましてより(その年皇紀九二九年の月日を太陽曆に換算して6月3日に当たる)一七五〇年の式年に当たりますので、6月3日に先ず狭城盾列池上陵を遙拝した後、式年大祭を斎行させて頂きたいと思っております。

再び自然神道への回帰を

今年の自然界の動きは、春三月桜の開花宣言がされると数日で満開となり、その他の花々も咲き始め、ツツジ、サツキも開花し、又梅雨入りしたかと思うと六月末には梅雨明け宣言がされました。

7月に入ると、梅雨明けの筈の梅雨前線が西日本各地に現れ、停滞して大豪雨に見舞われ、山崩れとともに大量の土石流となって民家が倒壊、河川が氾濫し洪水となって町全体の多くの家屋が泥水によって冠水し被害が各所に起り、死亡や行方不明者が出て避難生活を余儀なくされる方々が多くありました。連日の酷暑の中、行方不明者の捜索、河川や道路の復旧作業、浸水した家の土砂や家財道具の運び出しが遅々として進まぬ内に、7月末には台風12号が襲来し、東海地方に上陸するや前代未聞、東から西へ進み、又もや西日本を通過してゆきました。

この様な今年前半の異常気象による大豪雨の災害は、被災者の方々にはお気の毒で申し訳のないことではありますが、自然を自由自在に操ってきたと云う私ども人間に対する自然界からの警告、即ち、自然の神々の怒りなのでしょうか。ふと7年前の3・11東日本大震災のときのことか思い出されます。それは、哲学者梅原猛氏の「自然神道への回帰を」と云うことでもあります。

(5頁へ続く)

第20回重陽の節句 菊被綿飾り

9月9日は菊の節句とも呼ばれ毎年この日より菊被綿飾りを清涼殿で展示公開しています。菊は古代中国では仙境に咲く花で破邪延寿の効能があると信じられ、平安時代前期の宇多天皇の御代に「菊被綿」として宮中行事に取り入れられ、幕末まで行われていました。重陽の前日の9月8日、三色の菊の花に白、赤、黄の真綿で覆って菊の香りを移し、9日早朝朝露で湿った真綿を顔にあてて若さを保とうとするもので、当宮では、この「菊被綿神事」を8日夕刻に斎行し、翌日の朝御饗祭にこの菊被綿を奉献いたします。尚、菊被綿飾りは9月9日より17日まで清涼殿で展示します。



第18回十五夜の神遊び 月の音舞台



十五夜の9月24日は今年で18回目となる十五夜の神遊びが斎行されます。遊びは平成13年より、旧暦8月15日の十五夜に合わせ催されており、夕刻にまず陪観の方々の手によって竹燈籠約1300基に火が灯され、仲秋祭が斎行されます。その後、神楽殿では雅楽や神楽舞の奉奏に続いて、月の音舞台が催されます。演奏は昨年引き続き広く国内外で注目を集める尺八奏者「き乃はち」氏です。き乃はち氏の尺八の調べは、月明かりにすべく虫の音とともに鎮守の杜に響き渡り、深く閑かに心に染み渡ります。また、清涼殿ではこの日に因んだ特選料理「月見御膳」をご賞味頂く月見の宴も催されます。



杜の話題

わかば祭り(春の大祭)斎行

新緑も鮮やかな5月、3日より5日の3日間に亘り、天皇陛下御在位30年奉祝わかば祭り(春の大祭)が執り行われました。先ず、4月29日、昭和天皇のご聖徳をお讃え申し上げる昭和祭が斎行されました。次いで3日午後、春の大祭第一日ノ儀(稚児健康祈願祭)と稚児行列が行われ73名のお稚児さんが参列しました。稚児行列は今年第40回記念を奉祝して、氏子6地区各睦会・氏子青年会による御神輿の渡御も行われました。4日は、第二日ノ儀を斎行。祭典の後、神楽殿にて第18回若葉inおみやが開催され、神職の唄ひ手である涼恵氏の奉



皇太子同妃両殿下御結婚満25年奉祝祭



皇太子同妃両殿下におかれましては、平成5年6月9日のご成婚より、満25年をお迎えになりました。これを寿ぎ当宮では6月9日午前9時よりご本殿にて皇太子同妃両殿下御結婚満25年奉祝祭を斎行致しました。

「月見の宴」のご案内

清涼殿では、「十五夜の神遊び」に因んだ特選料理『月見御膳』をご賞味頂く「月見の宴」を月の音舞台終了後に(午後8時頃より)開催します。

名月を愛で、古式ゆかしい雅楽・神楽の調べや尺八の演奏をお楽しみ頂いた後、十五夜の雅と幽玄の余韻の中、「月見の宴」をお楽しみ頂きますようご案内申し上げます。

定員になり次第締切りとなりますので、お早めにお申し込み下さい。
※雨天でも「十五夜の神遊び・月の音舞台」は行われます。

お申し込み・お問い合わせは
大宮八幡宮 清涼殿まで
03(3312)7515



【月見御膳】◎御神酒付
お一人様 5,900円(税込)
『月の音舞台陪観指定席』含む
限定100名

献燈提灯奉納のご案内

大宮八幡祭り(秋の大祭)の期間中多くの参拝者をお迎えするに当たり、皆様方のお名前(ご社名)を入れた献燈提灯を掲出し、ご社頭を賑々しくお飾りさせて頂きたく計画しております。つきましては、左記によりご献燈賜りたく宜しくお願ひ申し上げます。



※複数燈でも承ります

掲出期間 9月8日から9月24日まで
初穂料 一燈一〇,〇〇〇円
申込締切 9月7日(郵送は6日必着)
※詳しくは社務所にお問い合わせ下さい。



もあつて引き続き第18回挙式者の集いが清涼殿にて開催されました。午後には、植樹祭(献木式)が当宮みどりの会主催のもと執行。祭典後には参列の方々に観葉植物が授与されました。最終日の5日は、当日祭(尚武祭)が斎行され五穀豊穰・皇室国家の安泰・氏子崇敬者の繁栄が祈念されました。期間中は、古武道武技奉納、杉並太鼓・方南エイサーの奉納演奏や、大宮八幡植木市等も開催され終日賑わいをみせました。

杉並区神社総代会 伊勢参宮旅行

杉並区神社総代会(五本木徳治会長・東京都神社庁杉並区支部の伊勢参宮旅行が5月10日・11日に開催されました。当宮からは、宮司、五本木徳治、瀬沼宏章両責任役員、五本木勝、井川邦夫両総代、兼務神社役員・総代が参加しました。



第19回裏千家献茶式

5月12日、第19回裏千家献茶式が行われ茶道裏千家今日庵(先代15代家

(2頁より続き)

あの震災が「人間に奴隷の如く酷使された自然(地球)の怒りと謂うべき観念が私の哲学大系に存在していなかった」と述べられ、ご自身の哲学への厳しい批判をされております。

『震災は天災であろうが、原発事故は、原発を造ってエネルギー源を安定させて来た科学技術の発展は豊かで便利な生活を享受することの出来る近代文明の理念とされて来た。その根底が揺らぎ始めたのは人災であるとともに「文明災」と云うべきである。亦「原子力安全神話」の崩壊は、日本のみならず、世界の国々、特に先進国には衝撃を与えた。そうして自然を奴隷の如く人間に従うものとしてきた所謂デカルト哲学の神話にも大きな疑問符が投げられた。人間中心主義文明に対する天の怒りを感じざるを得なかった。古代エジプトでは太陽神と水神が信仰され、日本との共通点が在ったが、今、西洋文明は長い間に太陽の神を忘れてしまっている。原爆及び原発事故の経験をもとに日本の伝統に立って独自の文化を創造すべきである。

暴虐な父とも云うべき自然への恐れとともに、慈悲に満ちた母なる自然を尊敬する神道の精神文化を再考して、自然の力を多分に享受し、自然に感謝をささげると云う日本文化の伝統精神に従って国造りをする事によって、新しい人類文明の在り方を世界に示すことが出来るのではなからうか」と自然神道への回帰の道を説かれているのです。

時宜を得た示唆に富んだものと感動したことを思い出し、今一度紹介させて頂きました。大自然の恵みに感謝するとともに、畏敬の念をもって慎み畏み謙虚な気持ちになって、自然環境を守って行くことの大切さを感じさせられる昨今であります。

今年も大宮八幡祭りに多くの氏子、崇敬者のお詣りを戴き、賑々しく盛大に斎行させて頂きたく思っております。大神様の広大無辺なご神威をお受け戴き、氏子、崇敬者のご家庭のご繁栄をお祈り致します。

元)ご奉仕のもと、厳かにご神前に濃茶と薄茶が献じられました。併せて、裏千家淡交会東京第6東支部の担当主催による奉賛添釜茶会が早朝より開かれ、濃茶席・薄茶席・立礼席の三席が賑々しく催されました。また、大宮幼稚園では恒例の幼稚園茶席が開かれ、大



宗匠の前で緊張した面持ちの園児たちが、日頃のお稽古の成果を披露しました。

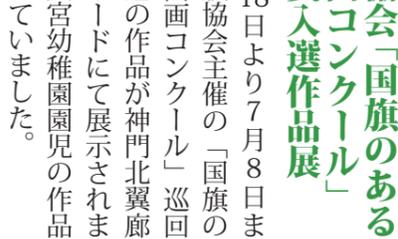
立正佼成会 大阪教会在参拝

6月14日、立正佼成会大阪教会(松本真一教会長)より100名がバス2台にて来宮。兼益沙由里支部長以下、八尾東支部、八尾南支部、藤井寺支部の三支部の方々



国旗協会「国旗のある自由画コンクール」 金銀賞入選作品展

6月18日より7月8日まで、国旗協会主催の「国旗のある自由画コンクール」巡回展で入選の作品が神門北翼廊ブルーボードにて展示されました。大宮幼稚園園児の作品も入選していました。



東京都第8小選挙区 国民投票連絡会議準備会正式参拝



7月3日、東京都第8選挙区(杉並区)国民投票連絡会議設立準備会が当宮で開催されました。開催に先立ち東京都第8小選挙区国民投票連絡会議準備会開催奉告参拝が行われ、日本会議東京都杉並支部長松本淳一郎氏が代表となって玉串拝礼されました。参加者は20名。

大祓形代流し旅行

7月10日、11日の両日に亘り、夏越の大祓で納められた形代を灰にしたものを流し清める形代流し旅行が行われました。今年30名が参加して東北方面にて実施。初日は当宮との姉妹神社締結20年を記念して宮城県岩沼市に鎮座し古くから日本三稲荷として信仰の厚い竹駒神社を参拝し、その後宿泊地の遠刈田温泉へ。ホテル前を流れる松川で形代流し神事を斎行。その晩は温泉にて日頃の疲れを癒やし、親睦を深めました。翌日は、福島市内に向かい福島稲荷神社を参拝、その後日本三大不動尊中野不動尊を参拝し、陸奥の名所・旧跡を巡る2日間となりました。



都敬婦連総会

6月18日、東京都敬婦人連合会(鎌田民枝会長)総会が清涼殿で開催され、都内六単位の婦人会役員20名が出席。開会に先立ち正式参拝が行われました。

夏越の大祓神事

水無月夏越の大祓神事が、6月30日午後4時より斎行されました。今年前半の知らず知らず身に付いた罪穢を祓い清め、気持ち新たに於て残る半年を迎えます。神門前斎場の茅の輪前にて、まず、大祓詞を宮司以下祭員、参列者(500名)全員で奉読、切麻と形代にて自祓の後、天と地が祓われました。次いで一同は神職に続いて左右左と茅の輪を三度潜り社殿に進みました。大祓神事に引き続き社殿では、大祓修了奉告並に大祓詞等浄書奉納奉告祈願祭を斎行。6月16日から24日まで開かれた大宮八幡塾水無月書写会(大祓詞書写会)で、りんどう会はじめ氏子崇敬者94名の浄書の大祓詞が前日に奉納されました。尚、前日の29日には、大宮幼稚園の大祓式が年少組親子、中年長組の2回にわたって行われました。



清涼殿トイレ 改修工事はじまる

清涼殿排水設備の老朽化に伴い6月19日〜8月31日の日程で各階トイレ改修工事をするようになりました。それに先だつて6月18日に清涼殿諸設備等改修工事起工清祓式を斎行。清涼殿の改修ヶ所をお祈りしました。



女衾神社「千社会」が 正式参拝



7月16日、神奈川県川崎市幸区幸町鎮座の女衾神社(伊藤美州穂宮司)「千社会」の一行39名が来宮されました。同会会長の相澤一男氏が代表として玉串拝礼のあと写真撮影、清涼殿で涼をとりに次地へ向かいました。

第18回納涼大宮天神こどもまつり 「杜のひびきinおのみや」

7月24・25日の両日、大宮八幡の夏の風物詩天皇陛下御在位30年奉祝 第18回納涼大宮天神こどもまつりが行われました。両日とも氏子青年会の模擬店に多くの子供たちが集まりました。24日午後5時30分より宵宮祭を斎行。25日には大宮天神祭が斎行されました。特に例年奉納している書画行燈には、今回特別に東久邇信彦様、神道扶桑教管長穴野史生様が書画を寄せられ、大宮幼稚園、近隣の小中学校、子ども園、女子

平安の雅び第20回乞巧奠飾りと 平成の大宮八幡乞巧潜り神事

7月1日より15日まで、平安朝の七夕飾り乞巧奠を再現した乞巧奠飾りが、清涼殿ロビーで展示公開されました。乞巧奠は古代中国の牽牛織姫の星祭り伝説とわが国の棚機つ女の信仰が結び付いた行事で、当宮では天皇陛下御即位十年を奉祝して、平成11年より行われています。7日の夕刻には社殿にて七夕の神遊び(技芸上達祈願祭)が斎行され、次いで神門前に設けられた梶の葉に七夕人形、五色の吹き流し、五色の布を垂らした平成の大宮八幡乞巧潜りを約80名の参列者が神職の後に続いて左右左と三度潜る乞巧潜り神事を行いました。その後清涼殿ロビーに進み乞巧奠に拝礼。また神門には、大きな笹竹飾りもつくられ参拝者は銘々に願い事を短冊に書き、満開の花咲くように笹竹が鮮やかに彩られました。8日と14日の夕方には、乞巧奠前にて雅楽の夕べが催され、雅楽の調べと朝日舞・豊栄舞・浦安舞が奉奏されました。



美術大学、一般の有志の方々よりの書画519点と合わせて、書画行燈362基に灯りが入り、参道・境内を照らしました。たくさんの子供たちによってこどもあかりみこしが賑やかに境内を巡り、子供ミニ花火の集いも神門前広場で行われました。午後6時30分より第18回杜のひびきinおのみや(時間をはずした日の祭事)を開演。和太鼓の響道宴氏等による奉納演奏で、今回はギターやチェロ・尺八に剣伎衆かむらによるパフォーマンスも加わり、迫力のある和太鼓とのコラボレーションが鎮守の杜に響き渡りました。





11月初旬には、**神宮大麻頒布式並びに氏神社社神符等奉戴式**が斎行されます。ご神前において大宮大麻・三玉荒神などの御神札に御霊遷しをして、神宮大麻と併せて頒布始めの由を大神様にご奉告いたします。各ご家庭や会社の事務所に神符に、神宮大麻や氏神様の新しいお札をお祀りして、清々しく平成31年の新春を迎えましょう。



神符奉戴式を斎行

第40回杉並大宮菊花展

杉並大宮菊の会の主催による**杉並大宮菊花展**が10月中旬より開催されます。杉並区内外在在の菊愛好家の方々が、4月より毎月開いてきた「菊づくり講習会」で丹精込めて作られた様々な菊の大輪が、錦秋を迎えた境内を彩ります。特に当宮独自の七五三文字菊の前では七五三語のご家族が写真を撮る光景が見受けられます。



大宮八幡の杜 秋も深まり

職場体験

今年も各中学校の皆さんが職場体験に来社しました。5月23日～25日松浜中、男子2名。6月5日～7日神明中、女子1名。7月2日～4日泉南中、女子2名と松ノ木中男子2名女子1名。7月10日～12日西宮中、男子1名女子3名。神職の指導により白衣袴の着装、境内清掃、授与所勤務大祓詞の浄書、雅楽の稽古など、また七夕笹飾りの飾り付けなども体験しました。落ち着いて挨拶もしつかりと明るく出来るようになりました。



氏子青年会だより

井川会長、都氏青会長に

6月23日、東京都氏子青年協議会総会において、大宮八幡宮氏子青年会会長、大宮八幡宮総代の井川邦夫氏が、東京都氏子青年協議会会長に選出されました。今後の活躍が期待されます。

大宮天神こどもまつりに

7月24日、25日納涼大宮天神こどもまつりに模擬店を出店しました。天候に恵まれ焼きそばやかき水などが飛ぶように出て、盛況でした。

毎月・お朔日参りを致しましょう

毎月1日 朔日祭
毎月15日 月次祭
毎月25日 大宮天神月次祭

ご自由に
ご参列下さい

春の集い

4月20日、春の集いが開催されました。50名参加の下、開催報告参拝の後、清涼殿蓬萊の間に、セレモニィのあと永福ハーマニーメイツのハーマニー演奏に合わせ、懐かしい歌を歌い親睦を深めました。



りんどう会だより

第12回総会

6月22日、第12回総会が開催されました。宮司、鈴木憲章責任役員を迎え鎌田民枝会長・五木木秀子副会長以下27名出席のもと話し合われました。



清掃奉仕

わかば祭りを控えた4月26日、御垣内の清掃が行われました。鎌田民枝会長他19名の会員によって、隅々まで掃き清められました。



★当会では随時会員を募集しております。お気軽に社務所事務局にご連絡下さい。



大宮八幡塾水無月書写会が6月16日から24日まで神社と共催で開催され、94名が参加しました。大宮八幡宮の自然豊かな杜で、大祓詞を浄書して、30日の夏越の大祓神事の後に行われる大祓詞等浄書奉納奉告祈願祭で、自筆書写の大祓詞94巻が神前に奉納されました。また、大宮幼稚園園児たちの手作りの折り紙飾りが、会員等の手により小笹に飾り付けられた**福笹530体**が大祓神事に参列の方に授与されました。

第28回杉並花笠祭り

恒例の初冬を飾る風物詩**第28回杉並花笠祭り**が12月8日(土)に、当宮とサミット株式会社主催、山形県などの後援で開催されます。当日はまず、杉並花笠祭り開催奉告祭を斎行、その後御神酒の鏡開きや花笠踊りのパレードが奉納されます。表参道では芋煮や地酒が無料で振る舞われ、山形特産の農作物などの露店が立ち並び、3万人を超える参拝者で賑わいます。



秋の豊かな実りに感謝新嘗祭



新穀を神前にお供えし、秋の収穫を感謝する**新嘗祭**が、11月23日(勤労感謝の日)、午前9時より斎行されます。この祭りは、五穀豊穣を祈る春の祈年祭(春の大祭)と対をなすお祭りです。宮中を始め全国津々浦々の神社で斎行されます。当宮では、大宮幼稚園の稲田で園児たちが丹精込めて植えてきた稲穂をはじめ、氏子・崇敬者や企業より多くの新穀・神酒、野菜・果物などが、外拝殿内、中央階段の左右に庭積神饌としてご神前に奉納されます。

祝七五三詣

七五三年齢表

7歳 女児 平成24年生
5歳 男児 平成26年生
3歳 男・女児 平成28年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。満年齢でお受け頂いても差し支えございません。

七五三レンタルプランご予約会

ご予約会日：毎日朝10時～夕方5時まで開催

お子さまの健やかな成長と幸せな未来をお祈りする七五三詣。晴れの日を迎え、お子さま自身もひとつ成長した誇らしさ、可愛らしさを胸一杯にすることでしよう。だからこそ、大切な記念日をご家族皆さまの大きな愛で素晴らしい一日にしてあげましょう。大宮八幡宮で全てをお決め頂ける展示ご予約会のご案内です。七五三のお祝い当日も同じ会場でお実施致します。熟練のスタッフが参拝される皆様の大切な記念日をお手伝いさせていただきます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

「新春初祈願祭」のご案内

平成31己亥年
当宮では、平成31己亥年の新春にあたり、皆様のご健勝・ご繁栄をお祈りする**新春初祈願祭**を1月1日午前0時より連日随時ご奉仕致しております。12月1日より授与所にて受付致します。また企業や団体関係の皆様には、仕事始めの祈願祭のご予約も承っております。年の初めに、社員・ご関係の皆様お揃いで八幡大神様の御神徳を戴かれ、新しい年が幸多き更なる発展の年となりますよう祈願祭を奉仕致します。

戌の日詣りは 子育八幡さまの当宮で 安産祈願祭を！

※戌の日以外でも随時お受けしております。ご祈願の方には大宮八幡息長帯(安産腹帯)と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様健康にご出産の時を迎えられますようとの願いが込められた「母子緒守」と「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。



戌の日早見表

1月	12月	11月	10月	9月
1日(祝)	8日(土)	2日(金)	9日(火)	3日(月)
13日(日)	20日(木)	14日(水)	21日(日)	15日(土)
25日(金)		26日(月)		27日(木)

は大安の日です

天皇陛下御在位30年奉祝
大宮八幡祭り(秋の大祭) 9月14日~17日

例祭・氏子奉幣祭 [16日 午前10時]



祓所にて修祓



宮司祝詞奏上



神社本庁幣の供進

第33回 神輿合同宮入り [16日 午後6時大宮宮元會神幸所発輿]



奉幣使氏子祈願詞奏上



表参道神輿渡御(宮入り)



江戸消防記念会による木遣り

氏子町会神幸所

大宮地区

大宮宮元會神幸所

方南地区(南・北)

- 峰睦会神幸所
- 方南新榮若睦会神幸所
- 泉南睦神幸所
- 方南西神幸所
- 方南東神幸所(上)
- 方南東神幸所(下)

和田地区(東・西)

- 和田睦会神幸所
- 和田敬神会神幸所
- 和田仲組神幸所
- 和田南神幸所
- 和田東神幸所

松ノ木地区

松ノ木睦会神幸所

奉納神賑行事



第40回記念献華いけばな小原流展 [15~16日]



杉並太鼓 [15日]



園児民謡踊り [15日]



野点茶会 [16日]

大宮 第112号
平成30年秋の大祭号

平成30年9月1日発行

大宮八幡宮社務所

〒168-8570

東京都杉並区大宮2-3-1

電話(3311)0105 FAX(3318)6100

Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp



高井戸囃子 [16日]



小笠原流三三九手挾式 [17日]